



「シンプル」→「伝わる・わかる」→「つながる」→「安心」

学校だより

令和 5年 9月 1日
東京都立羽村特別支援学校長
外山 裕介

文責：副校長 西村 孝法

2学期もよろしくお願ひいたします。

夏休み前には災害級の暑さが続き、体調管理が難しい気候でした。夏休みに入り、日本各地では記録的な大雨による災害も報道されるなど、これまでの「夏」とは気象環境が変わってきているように感じます。保護者や児童・生徒の皆様におかれましては、新学期に向けて、体調を崩すことなく、元気にリフレッシュできましたでしょうか。

9月に入っても、まだまだ暑さが続きます。学校生活のリズムを戻していくとともに、体調維持に気を付けてまいります。教育活動におきまして、屋外の活動だけでなく、室内での活動においても室温、水分補給、休憩などに配慮し、一人一人の体調や状況に応じて熱中症に注意してまいります。

2学期も、子供たちが元気に学習に取り組めるよう、御家庭におかれましては食事のバランスや睡眠など、体調維持への御協力を引き続きよろしくお願ひいたします。



サービス事故防止研修を行いました。

本校では、7月19日(水)に全教職員を対象に「サービス事故防止研修」を実施しました。この研修では、子供たちの人権を守り、尊重することを再度確認することと、教職員による児童・生徒への「性暴力」について研修をしました。

性暴力とは、児童・生徒にわいせつな行為を行う・行わせることだけでなく、著しく羞恥させ、不安を覚えさせるような行為も含まれ、児童・生徒の心身に有害な影響を与える行為のことを指します。

研修会では、ワークシートを活用し、事例を挙げて対策を考えたり、チェックシートを活用して日頃の自己の指導や対応を振り返ったりと、教職員一人一人が教育・指導について見つめ直すとともに、本校での教育活動に落とし込み、性暴力の防止とより良い指導への改善につなげるための研修としました。今回の研修を通し、児童・生徒への影響の大きさや、罪の重さ、関係者への信用の失墜など、「あってはならない行為」だということをあらためて確認・周知しました。教職員全員が、性暴力・体罰防止など、児童・生徒の人権に関して、さらに意識を高め、児童・生徒にとって安心・安全な学校にまいります。

もし、これに関係することについて悩まれている児童・生徒がいましたら、終業式に配布しました、「相談シート」を御活用ください。



(右上に続く)

スクールバス安全運行支援員の紹介

今年度4月より、スクールバスの安全な運行に関する業務を支援することを狙いとした「スクールバス安全運行支援員」が配置されています。日々のスクールバスの安全な駐車場の出入り時の支援や、乗務員との児童・生徒状況等の情報共有など、安全運行全般における業務にあたっています。

遅くなりましたが、自己紹介文を掲載します。

私の名前は佐舘由美と申します。今年度4月より、スクールバス安全運行支援員として、羽村特別支援学校に配属となりました。先生方と連携し、スクールバスの安全運行に尽力したいと思います。スクールバスに関する事で御意見や御不明な点などありましたら、連絡帳などでお知らせいただければ担当の教員と連携して対応させていただきます。よろしくお願ひいたします。

2学期もTwitterに御注目を！

2学期も学習活動に関する情報を「Twitter(ツイッター)」で発信していきます。子供たちが、学校教育において、どのような活動をがんばっているのか、いち早く情報をお届けします。2学期も、どうぞ、「Twitter(ツイッター)」に御注目ください！



「羽村特支のむかし話」

今年度は創立50周年記念式典が行われます。

今回のむかし話は、こんなお話です。

9月【果樹園で 手を伸ばすのは】

旧校舎は、バス通り側に立っていたので、今の校舎の場所にはグラウンドや畑がありました。現在の駐車場の位置は、イチゴやスモモ、ゆず、ビワ、みかんの木などがたくさん植えてある果樹園で、朝のマラソンコースになっていました。実りの季節には、好きな果実をもうで食べる児童・生徒も出現！注意する教員とのイタチごっこになったそうです。果樹園には、キウイフルーツの棚もあり、たわわに実った年には、給食の先生がジャムを作って、パン給食の日に出してくださったそうです。きっと美味しかったでしょうね。

